

資料5

低炭素モビリティWG 報告資料

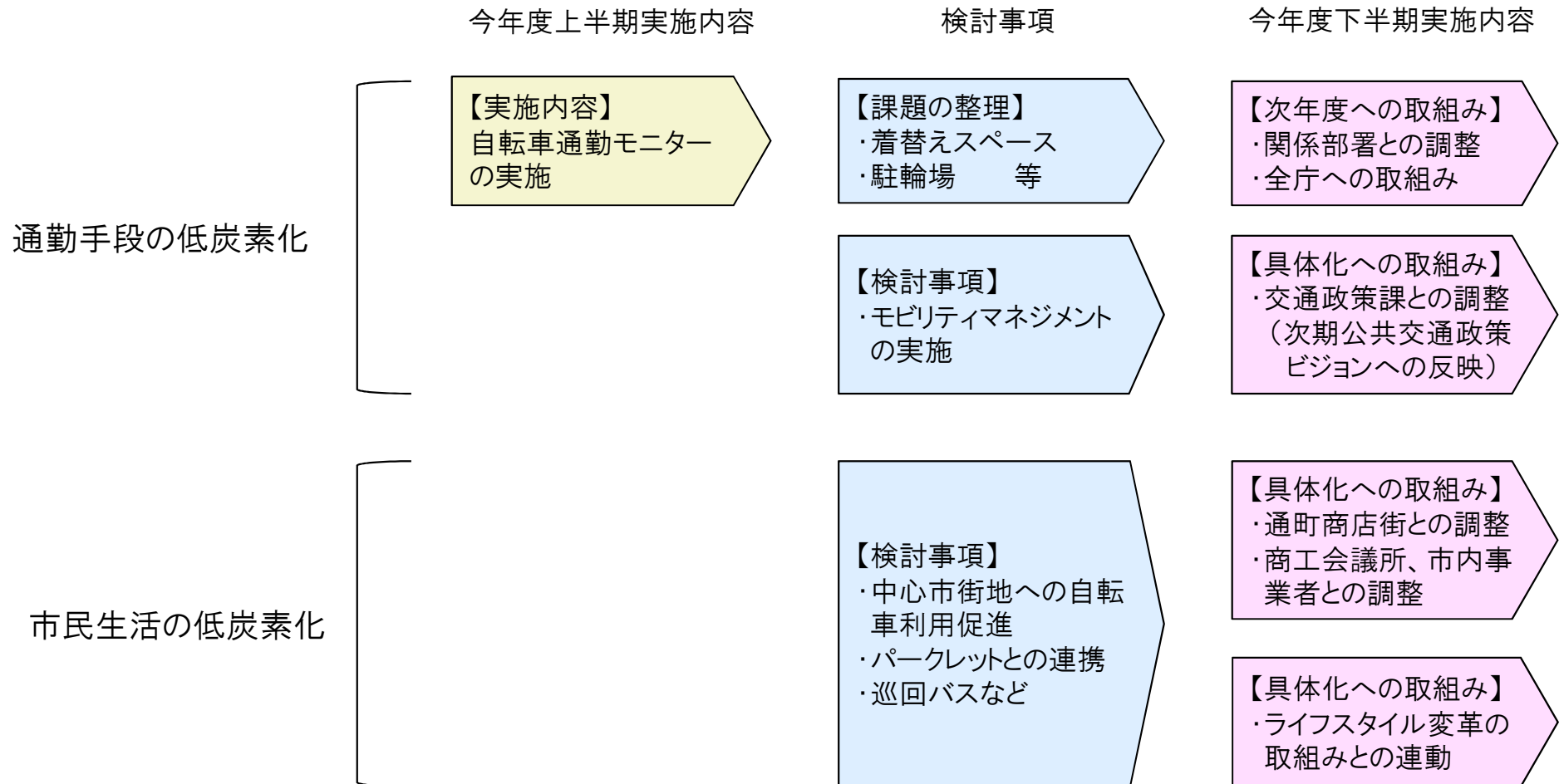
第13回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部 大会議室

平成27年3月20日(金)

1 本年度の実施内容

- 通勤手段の低炭素化については、自転車モニターの成果も踏まえ関係部署との調整を継続
- 市民生活の低炭素化については、ライフスタイルの変革の中でプロジェクトを実施予定



2 本年度実施内容 自転車通勤モニター調査

- 2014(H26)年7月実施（期間2週間）
 - 職場環境への要望は、雨に濡れたり、汗をかいた時の対応(更衣室等)が最も多い。
 - 勤務時間(時差、フレックス)等に関する意見はない。あらかじめ通勤時間を見込んで出勤していると思われる。
 - 市内の交通環境、道路状況に関する気づき、自転車通勤を行うことによる「発見」のコメントが多い。
 - 自転車通勤を促す環境を整備すれば継続的に実施する人が増えるのではないか。

実施結果

項目	数値
平均自転車利用回数	13.2回 (全18回 片道)
平均走行距離	11.28km
平均速度	16.25km/h

主な意見・感想

種別	内容
職場環境への要望	出勤時に雨天になると業務に支障が出る
	汗をかくと着替えが必要
	新庁舎竣工時の駐輪場の確保が心配
交通環境への気づき	交通マナーへの気づき(車道を走る自転車がほとんどいない、スマホを見ながらの自転車運転 等)
	自転車走行しにくい道路への指摘(車道が走りにくい、歩道との段差、見通しの悪い交差点 等)
	自転車走行に関する気づき(車道を走ると後ろからの車が気になる、通学路を注意して走るようになった)
自転車通勤の利点	帰りに寄り道ができる
	気持ちがいい(周りの風景、沿道の樹木、風が涼しい)
	良い運動になる
	業務利用ができる(共有の自転車利用より簡単)

3 平成27年度の実施方針

- 今年度の成果を踏まえ、平成27年度は以下の事項に関する検討を行う。

	実施内容	実施方法	2015(H27)年度の目標
通勤手段の低炭素化	職員の自転車通勤の普及	引続き関係部署との調整を継続	自転車通勤普及の方向性を示す
業務移動の低炭素化	業務用サイクルシェアの導入の可能性検討	サイクルシェア事業者に対する調査	導入の可否の判断 新庁舎への導入の可能性検討
市民生活の低炭素化	市民、観光客向けサイクルシェア導入の可能性検討	サイクルシェア事業者に対する調査	導入の可否の判断 関係機関との調整
	買い物交通の低炭素化	ライフスタイルWGと連携したパークレット導入	試行的導入場所の設定 関係団体との調整